

4 鎌ヶ谷市の農業振興指針

(1) 将来像及び基本方針

《将来像》

市民が支える都市農業のまち かまがや

農家（生産者）と市民（消費者）の強いパートナーシップ

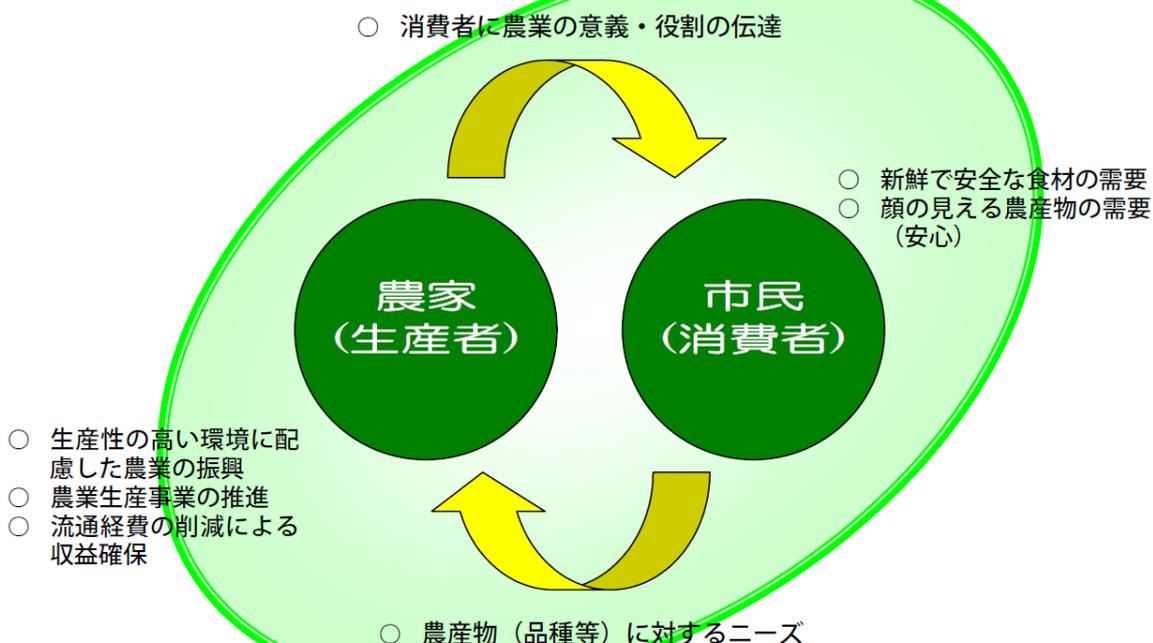
《基本方針》

①持続性のある農業経営の確立

②農家（生産者）と市民（消費者）の共存共栄

この将来像及び基本方針は、本市が市街化調整区域に農地が広がり、市街化区域にも農地が点在する農住混在のまちであるという特徴を有することから、平成15年の前回計画策定時に定められたものです。現在の本市の農業振興に向けた課題を踏まえて見直した結果、本市の農業振興には今後も市民の支えが不可欠であると考えられることから、引き続き上記の将来像及び基本方針で農業振興に取り組んでいきます。

《市民が支える姿のイメージ》



(2) 鎌ヶ谷市総合基本計画との整合性

前回計画の策定後に、本プランの上位計画である鎌ヶ谷市総合基本計画（かまがやレインボープラン 21）の見直しが行われ、平成 23 年～32 年を計画対象期間とする後期基本計画が定められました。後期基本計画には、活力ある産業の育成のための施策の一環として「都市農業の育成」が位置付けられており、その「施策のねらい（めざす姿）」として以下の内容が掲げられています。

農業と市民のふれあいが強化し、農業が持続的に発展する中で農業生産が行われ、新鮮・安全・安心な食料が提供されています。また、農地の有する多面的機能からも本市の魅力づくりに貢献しています。

市民とのふれあいや農業の持続的な発展を通して都市農業を育成していくという考え方は、本プランの考え方とも共通していることから、本市全体としての将来像とも整合性を取りながら、次頁以降に掲げる施策を進めていきます。